

2022年10月31日

各 位

会 社 名 株式会社JVCケンウッド
 代表者名 代表取締役
 社長執行役員 最高経営責任者 (CEO)
 江口 祥一郎
 (コード番号6632 東証プライム市場)
 問合せ先 企業コミュニケーション部長
 遠藤 勇
 (TEL 045-444-5232)

2023年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2022年4月27日に発表しました2023年3月期通期連結業績予想を下記のとおり修正いたしますので、お知らせいたします。

記

1. 2023年3月期通期連結業績予想の修正 (2022年4月1日から2023年3月31日まで)

(単位：百万円)	売上収益	コア営業利益 [※] (参考)	営業利益	税引前利益	親会社の所有者 に帰属する 当期利益	基本的 1株当たり 当期利益
前回発表予想 (A) (2022年4月27日発表)	300,000	9,500	8,000	7,000	4,000	円 銭 24 47
今回修正予想 (B) (2022年10月31日発表)	330,000	12,700	20,800	19,800	15,200	円 銭 92 98
増 減 額 (B-A)	+30,000	+3,200	+12,800	+12,800	+11,200	
増 減 率 (%)	10.0	33.7	160.0	182.9	280.0	
(参考) 前期実績 (2022年3月期)	282,088	7,144	9,054	8,515	5,873	円 銭 35 89

※コア営業利益には、営業利益に含まれるその他の収益、その他の費用、為替差損益など、主に一時的に発生する要因を含みません。

2. 修正の理由

当第2四半期連結累計期間は、米国において多額の政府予算を背景に公共安全市場の需要が堅調であることに加え、米国でのプレゼンスの拡大につながる新製品トライバンド対応無線機の導入を2023年1月に予定しており受注獲得が進んでいること、全世界的な危機管理への機運の高まりにより無線機需要が拡大していることなどによって、パブリックサービス分野の無線システム事業が想定以上に好調に推移したことなどから、全社で期初の想定を大幅に上回る実績となりました。

第3四半期連結会計期間以降については、引き続き堅調な市況を背景に、無線システム事業が大型案件受注効果も発現することなどから期初計画を大きく上回る見込みです。また、モビリティ&テレマティクスサービス分野もOEM事業における生産回復などにより期初予想どおりの利益が見込まれることなどから、全社の売上収益、コア営業利益は期初の想定を上回る見込みです。

さらに、営業利益以下の段階損益については、本日別途開示しました「固定資産の譲渡に関するお知らせ」のとおり、第3四半期連結会計期間に固定資産の譲渡益（約96億円）の計上を見込むことから、上記のとおり2023年3月期通期連結業績予想を修正いたします。

なお、今回修正予想の営業利益以下の段階損益は、2008年の経営統合以降における最高益となります。

【参考】分野別通期連結業績予想

(億円)

		2021年3月期 実績	2022年3月期 実績	2023年3月期 前回発表予想 (2022/4/27)	2023年3月期 今回修正予想 (2022/10/31)	前回予想比
M&T	売上収益	1,571	1,643	1,810	2,000	+ 190
	コア営業利益	56	22	51	51	± 0
PS	売上収益	609	581	608	698	+ 90
	コア営業利益	19	25	29	72	+ 43
MS	売上収益	501	534	528	560	+ 32
	コア営業利益	5	27	19	19	± 0
その他	売上収益	55	63	54	42	△ 12
	コア営業利益	△ 5	△ 3	△ 4	△ 15	△ 11
合計	売上収益	2,736	2,821	3,000	3,300	+ 300
	コア営業利益	75	71	95	127	+ 32
	営業利益	49	91	80	208	+ 128
	税引前利益	45	85	70	198	+ 128
	親会社の所有者に 帰属する当期利益	22	59	40	152	+ 112

以 上